令和6年度 第3回定例農業委員会総会議事録

1. 招集の別 農業委員会等に関する法律27条第1項による
2. 日 時 令和6年6月6日 午後1時30分
3. 場 所 生涯学習センター「研修室」
4. 議 題 議案第9号 農地法第3条許可申請書審議について
議案第10号 農地法第5条許可申請書審議について
議案第11号 農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（令和4年法律第56号）附則第5条第1項の規定による決定について（諮問）

5. その他

6. 出席委員

農業委員

1 番 境 栄一郎	2 番 長野 和代	3 番 清住 昇
4 番 松本 茂	5 番 伊豆野 誠	6 番 五嶋 靖
7 番 岡本 篤幸	8 番 平井 豪	9 番 草場 竜一郎
10 番 本田 廣正	11 番 中村 幸信	12 番 河嶋 隆雄
13 番 緒方 寛二	14 番 中村 節美	

農地利用最適化推進委員

西村 孝生	外村 和彦	松永 博文	井芹 康雄
坂本 導成	松野 文男	上村 敦之	

7. 欠席委員

農業委員

なし

農地利用最適化推進委員

西村 盛一	田上 安幸	伊佐 浩二
-------	-------	-------

8. 議事録署名人

- 1 番 境 栄一郎
- 2 番 長野 和代

9. 本会議に職務のため出席したものの職氏名

事務局長 上古閑 一徳

事務局職員 美濃田 知也、小山 美伸、川端 励志

会 議

1. 開 会

事務局長 皆さん、こんにちは。

それでは定刻を過ぎましたので、総会を始めたいと思います。まずは総会の成立要件を申し上げます。本日の出席委員は13名でございます。甲佐町農業委員会会議規則第6条の規定を満たしますので、総会が成立することを御報告いたします。

それでは、ただいまから令和6年度第3回、定例農業委員会総会を始めさせていただきます。

2. 会長挨拶

事務局長 まず、岡本会長に御挨拶をお願いいたします。

会 長 皆さん、こんにちは。麦の収穫もほぼ終わりました皆さんが田植えに向けて農作業を多忙な毎日だと思います。多忙な中にお集まりいただきまして大変ありがとうございます。先般、私と上古閑課長、全国の農業委員会の会長大会に出席してまいりました。その関係でこの内容についてご報告をしたいと思います。5月の29、30、31に東京の文京区のシビックホールというところで行われました。熊本からは85名の参加、それから全国からは約1,800名の参加がありまして行われたところです。それで議案だけ申しますと3号議案まで行われまして、全部で4号ありましたが、1つは政策提案の決議、いわゆる食料・農業・農村基本政策の具体化に向けての提案などの議題。もう1つは地域の農業に関し、持続可能な農業・農村を創る全国運動を推進するための申し合わせ事項の決議、それから3番目には情報提供活動の一層の強化に関する申合せ決議。4番目に全国の農業委員会会長大会実行委員運動計画案についての4つの議案が上程されまして全て提案通り決議されたところです。その後、熊本県選出の国会議員の先生方も参加をされましたが、その先生方と農業委員会の会長、事務局長と対面で意見交換会が行われました。その中で発言者が6人いたところです。女性の方が3名発言をしておられます。それと男性の方が3名、3名のうちの1名で私、トップに手を挙げて発言をしてきたところです。その内容についてお知らせしたいと思います。

1つ目は皆さん方もご承知かと思いますが、食料・農業・農村基本計画について先般北海道と鹿児島市の方において地方公聴会が開催されておるところです。この中でこの内容が酪農家等々について、一般の農業者さんも同じですが、物資高、燃油高の高騰で非常に厳しいという内容の声も上がっております。それに加えて私たちの農産物の価格が全然あがらない。価格転嫁ができていないというような内容の発言をしておりました。従いましてこれに対する善処をお願いしたいというような内容を申し上げたところです。2点目は皆さん方にもしよっちゅう申し上げておりますが食料自給率の

向上についてですね。半世紀以上、全然食料自給率があがらないじゃないかというような内容の発言をしてきたところです。先般の報告からですが会計検査院から指摘をされております。平成17年から22年までに農林水産関係の予算としては約16兆円もの金を使っておると、にもかかわらず全然効果がないじゃないですかという内容で非常に厳しい論調で指摘をされております。従いまして私も常々申し上げてきたわけですが、絵に描いた餅で終わっていたということで、今度の計画の中にはいわゆるその検証と言いますか、調査と言いますか、それを必ず取り入れるということで今度の基本計画の中には掲示される予定です。従いましてこれもそういう発言をしてきたところです。それからもう1つは皆さん方も関心があるかと思いますが、いわゆる水田の畑地化の関係ですね。これを伝えていました。これについても水張を一回行いなさいというようなことでこの内容の施策と言いますか、これについては私も非常に口をすっぱくしてきつく申し上げたんですが、これは百姓泣かせだ、農家泣かせだと、水をはってじゃあその後作物が作れるかというとすぐには作れないわけですね。1ヶ月水を張って、それから作物を作るためには2、3ヶ月はほったらかして、それからトラクターで畔お越しをして麦を作るとか大豆を作るとかをしなくてはならない。要するに農家泣かせじゃないかということで申し上げてきたところです。現場は非常に混乱をしていると地主さんとの小作者の契約ごとで先に金をもらうのもですね。反当り15万ですが、後、今から5年間。先にもらったがいいのか、それともそれを実行していわゆる直接払いの交付金を継続的に未来永劫もらっていくのか。これは5年で打ち切りですから、さっき言った分は。そういう政策をしているのはおかしいんじゃないですかというような内容を申し上げたところです。私の前に藤木先生がおって答弁をされたんですが、ちょっとお茶を濁したような答弁で、後で私の所に来られて、私も苦笑いしてそれはまずいんじゃないんですかと言いたかったんですが、その前に言っていますので非常に効果はあったと思います。それが3番目ですね。それともう1つは最後にいわゆる担い手不足、高齢化に発言をしてきております。現場では高齢化、あるいは担い手がなくて非常に苦しんでいると、今度目標地図、地域計画を作りなさいとおたっしがきておりますけれども、それは作りますが、作ってもいいんですが、じゃあそれを誰がやるんですかと。若手はいませんよ。後継者もほとんどいませんよ。現場は70代以上の人が農作業をやってらっしゃる。というような内容で申し上げたところです。従って作ってもこれも自給率と一緒に、絵に描いた餅で終わりはしないかと心配をしておりますというようなことで先生方に申し上げてきたところです。その4つを柱として申し上げてきましたので、ただ行っただけじゃなくて。その後懇親会がありましたので、坂本先生とお話して大西さんになんて言われたかな、あん時は、骨格を付いた質問で、と言う内容で先生が言われました。確かに私もその通りだと思います。非常に

日本の農業が苦しんでいる状況をなくなさいかんということで、最後にはやはり若い人が農業でご飯を食べていけるような政策をしないといけないんじゃないですかと抜本的な農政の改正をお願いしたいという内容で発言をしてきたところです。過日、食料・農業・農村基本法、いわゆる農政の憲法と言われます基本法が成立をいたしました。この中の第1条の精神が食料の安全保障です。やっぱり食料というのはそれだけ大事ということで、その後、先程も言いました食料の自給率の検証の問題は今後1年間かけて食料・農業・農村基本計画の中で具体化されてきますので、そういうことで皆さんも農業新聞等で気を付けていただければそういうことが出てくると思いますので、長くなりましたけれども、そういうことで農業委員会の報告に代えさせていただきます。本日は3条、5条、それから基盤強化法の関係が予定されておりますので、皆さんからの真摯な発言をお願いしながら、若干長くなりましたけれども、冒頭にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。以上です。

事務局長 ありがとうございます。

3. 議事録署名委員の指名

事務局長 それでは、議事録署名委員の指名をお願いいたします。

会 長 本日は、1番委員の境委員と2番委員の長野委員をお願いいたします。

4. 議 事

事務局長 それでは議事に入りたいと思います。

議事の進行につきましては、会議規則第4条の規程に基づき、会長をお願いいたします。

会 長 それでは早速審議に入りたいと思います。

議案第9号、農地法第3条許可申請書審議についてを議題といたします。

それでは、説明をお願いします。

事務局長 それでは1ページをお願いいたします。

議案第9号、農地法第3条許可申請書審議について。

農地法第3条第1項の規定に基づき、別紙のとおり許可申請がありましたので、許可の決定について意見を求めるものでございます。

令和6年6月6日提出、甲佐町農業委員会会長名です。

以上になります。

会 長 それでは、審議に入りたいと思います。

2ページをお願いします。番号1番について審議したいと思います。

番号1番、2番は相手方が同一ですが、契約の種類が異なりますので、今回はそれぞれで審議したいと思います。12番委員の河嶋委員から説明をお願いします。

12 番 12番委員の河嶋です。では、説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)
以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。4ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明します。申請土地は赤色の部分です。こちらに龍野小学校、こちらにふれあい広場がありまして、申請番号1番の申請地は、ふれあい広場から南東へ約920メートルのところに2筆隣接しています。

場所の説明は以上です。

会 長 続きまして、12番委員の河嶋委員から農地の所有権移転(有償)について、農地法上問題がないかを説明をお願いします。

12 番 12番委員の河嶋です。今回の申請は、申請人が相手方に農地の売買について相談され、了承を得られたので今回の申請となりました。それでは、申請された内容を農地法に照らし、問題ないか説明いたします。

お手元のラミネートの資料の「権利取得が農家の場合」をご覧ください。

①については、取得後において、全ての農地を効率的に利用されると思われま

②については、該当しません。

③については、該当しません。

④については、本人の従事日数は150日程度であり、取得後の農地を適正に管理することに、何ら問題ないと思われま

⑤については、該当しません。

⑥については、問題ないと思われま

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。4番委員の松本委員から説明をお願いします。

4 番 4番委員の松本です。

先月の5月29日に清住会長職務代理者、五嶋委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は、大字中横田に2筆あります。

申請地には、山椒の栽培を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れがないことを報告いたします。

会 長 ただいま、4番委員の松本委員から現地調査の報告。また、12番委員の河嶋委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。

何か御意見ございませんか。

ないようでございます。採決を行います。許可することに賛成する方は挙手願いま

す。

(挙手の確認)

全員賛成と認めます。番号1番については、原案どおり許可することに決定いたします。

続きまして、番号2番について審議したいと思います。

12番委員の河嶋委員から説明をお願いします。

12 番 12番委員の河嶋です。では、説明します。
(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)
以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。4ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。こちらに龍野小学校がございまして、こちらがふれあい広場です。今回の申請2番の申請土地はこちらのふれあい広場から東へ約1.3キロメートルのところ、ここに4筆、このように点在しております。場所の説明は以上です。

会 長 続きまして、12番委員の河嶋委員から農地の使用貸借権設定(20年)について、農地法上問題がないか、説明をお願いします。

12 番 12番委員の河嶋です。

今回の申請は、申請人が相手方に農地の管理について相談され、了承を得られたので申請となりました。それでは、申請された内容を農地法に照らし、問題がないか説明します。

お手元のラミネートの資料の「権利取得が農家の場合」をご覧ください

①については、取得後において、全ての農地を効率的に利用されると思われま

②については、該当しません。

③については、該当しません。

④については、本人の従事日数は150日程度であり、取得後の農地を適正に管理することに、何ら問題ないと思われま

⑤については、該当しません。

⑥については、問題ないと思われま

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。6番委員の五嶋委員から説明をお願いします。

6 番 6番委員の五嶋です。

先月の5月29日に清住会長職務代理者、松本委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は、大字中横田にある農地4筆です。

申請地には、山椒の栽培を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れのないことを報告いたします。

会長 ただいま、6番委員の五嶋委員から現地調査の報告。また、12番委員の河嶋委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。

よろしいでしょうか。

意見はないようでございます。それでは採決を行います。許可することに賛成する方は挙手願います。

(挙手の確認)

全員賛成と認めます。番号2番については、原案どおり許可することに決定いたします。続きまして、番号3番・4番は、相手方が同一で、契約の種類も同一なので、一緒に審議したいと思います。10番委員の本田委員から説明をお願いします。

10番 10番委員の本田です。では、説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)以上です。

会長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。5ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。こちらが田口の五差路になっておりまして、こちらがグリーンセンターでございます。申請番号3番の申請土地はこちらのグリーンセンターから東へ約100メートルのところに1筆、申請番号4番はこちらの田口の五差路から南西へ約470メートルの田口字保木ノ上に1筆、田口の五差路から710メートルの田口字八反に1筆、その道向かいの平石に1筆、政所に1筆、申請番号4番の申請土地はこのように点在しております。場所の説明は以上です。

会長 続きまして、10番委員の本田委員から農地の使用貸借権設定(10年)について、農地法上問題がないか、説明をお願いします。

10番 10番委員の本田です。

今回の申請は、申請人が相手方に農地の管理について相談され、了承を得られたので今回の申請となりました。それでは、申請された内容を農地法に照らし、問題がないか説明します。

お手元のラミネートの資料の「権利取得が農家の場合」をご覧ください

①については、取得後において、全ての農地を効率的に利用されると思われます。

②については、該当しません。

③については、該当しません。

④については、本人の従事日数は200日程度であり、取得後の農地を適正に管理する

ことに、何ら問題ないと思われます。

⑤については、該当しません。

⑥については、問題ないと思われます。

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。4番委員の松本委員から説明をお願いします。

4 番 4番委員の松本です。

先月の5月29日に清住会長職務代理者、五嶋委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は、大字田口にある農地4筆です。

申請地には、大豆・胡麻の栽培を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れのないことを報告いたします。

会 長 ただいま、4番委員の松本委員から現地調査の報告。また、10番委員の本田委員から、農地法第3条第2項の各号いずれにも該当しないと説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。境委員どうぞ。

1 番 譲受人についてちょっとお尋ねしたいんですけど、この方この前も1回出られたと思うんですけども、今回この土地の譲渡がすれば1町近くになります。住所の件で団地とあります。機械倉庫とか作業場とか作業小屋とかは別にもっておられるとでしょう。

会 長 事務局。

事務局 事務局から説明いたします。この方今現住所は御船町になっていらっしゃるんですけども、甲佐町に実家がおありでして、ご実家の所からお兄様も農業をされていますので、そこから機械等を運ばれていると伺っております。

1 番 じゃあそこに機械とか作業する所があると。

事務局 はい。

推進委員 よろしいですか。●●さんの土地なんですけれども、この角のところに倉庫みたいなものをギリギリに建てているんですよ。倉庫かなんか分からないけど、道があるのにそれをギリギリに建てて通るも何もできない状態なんですよ。その先が私の畑があるけど、行くに行けないような、写真みて分かるかな。▲▲というところですよ。写真にはうつってないですね。左の角のどこなんですよ。上の方の。角のところは昔から道があるんですよ。そこのところにギリギリに建てているんですよ。それで私は車の出入りもできんで、よその下の方の墓地のところに空いているところに置かせてもらって、歩いて行っているんですよ。それが見に行かれた時に建物は無かったですか。今はあるはずなんですけれども。

事務局 現地確認に行った際に確かにそこに小さい物置というか苗の入れ物とかを置くのが

ちっちゃくありました。

推進委員 それがギリギリに建っているんですよ。

事務局 もし農道とかでそういう廃材とかがあって車が通れないということでしたら、譲受人の。

推進委員 元々車は通れないのは通れなかったんですけど、とにかくそこんところギリギリなもんで歩いて行くにも行けない。

事務局 車1台が通るのもやっとなところではありますので、確かに物が少しでもあると通れはできないと思います。そういう場合もこちらにこうゆう声があがっているということでお伝えします。

事務局長 それはできない。もう地籍調査が終わっているし、私有地の中ならできるから。

10 番 道が軽トラやっとなしか通れない、狭いところだけん、その道ギリギリにあるけん、要するに通られんという話ばしよる。小屋がじゃまして。

推進委員 もう少しでもひいてあればね。ギリギリに建ててあるけん。

会 長 しばらく、暫時休憩します。

休憩 午後2時4分

再開 午後2時6分

会 長 再開をいたします。ほかに何かございませんか。

ほかにないようでございます。それでは採決を行います。許可することに賛成する方は挙手願います。

(挙手の確認)

全員賛成と認めます。番号3番・4番については、原案どおり許可することに決定いたします。続きまして、3ページをお願いします。

番号5番について審議したいと思います。

11番委員の中村委員から説明をお願いします。

11 番 11番委員の中村です。では、説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)以上です。

会 長 それでは、申請土地の位置の説明を事務局からお願いします。

事務局 それでは説明いたします。お手元の資料6ページと7ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。まず6ページにあります地図なんですけど、こちらが南三箇にある申請土地になります。失礼いたしました、中山にあります申請土地になります。こちらが宇城鉄筋がございまして県道御船甲佐線がこのように走っております。今回の申請土地は宇城鉄筋より南西へ約900メートル圏内の中山にこのように15筆点在しております。続きまして、南三箇にある申請土地について説明いたし

ます。こちらに乙女小学校がございまして、県道今吉野甲佐線がこのように走っております。今回の申請土地は乙女小学校から南西へ約1キロメートルのところの南三箇に11筆、このように点在しております。場所の説明は以上です。

会 長 現地調査を行っております。6番委員の五嶋委員から説明をお願いします。

6 番 6番委員の五嶋です。

先月の5月29日に清住会長職務代理人、松本委員、事務局と一緒に現地調査を行いました。

申請されている農地は、大字南三箇にある農地11筆、大字中山にある農地15筆です。

申請地には、米・かぼちやの栽培を計画されており、周辺の営農に支障をきたす恐れのないことを報告いたします。

11 番 会長、休憩をお願いします。

会 長 しばらく、暫時休憩します。

休憩 午後2時11分

再開 午後2時12分

会 長 再開いたします。ご承知のように全部で26筆ございます。これで耕作が非常に厳しいのではないかという説明だったと思いますが、そこでこの相手方は●●さんですよ。この方は新規就農が切れたかな5年ぐらい。新規就農されて5年なるかならないかぐらいの人です。だけど私しょっちゅう中間評価といいますか会議に出席していますけれども、非常に真面目というか誠実というか、そういう方で非常に活発な方というか、そこだけは認めています、法人の関係でも色々携わってる方でしょう。確かオペレーターとかね。加勢をするような方ですから非常に人望はあるかなと思っていますが、とにかくなんせ26筆という、それをどうできるのかと非常に危惧をされておりますので、そこら付近をまじえて検討を願えればと思います。

11 番 現在田んぼの方は小作人か何人かで管理されているようです。自分ではまた畑の方をかぼちやを植えようというような感じでされとるような。

10 番 そこで1個質問なんですけれども、中山地区にかぼちや部会というのを作っとらさよね。そのメンバーですか。

11 番 そのメンバーじゃないです。

推進委員 一応メンバーにはなっています。

11 番 何人ですとらさとかね。

推進委員 6名です。

10 番 最盛期になるとグリーンセンターにかぼちやを並べてあるんですよ。

推進委員 いいですか。地元なんであれですが、この案件が出たということは■■■の方が撤退されて土地を処分したいというのがあって、この●●さんの親父さんが■■■がき

た時にずっと間に入って世話されていて、今度その息子さんにお願いされたんですよ。

会 長 経緯がですね。今井芹さんから経緯がありましたけれども。

推進委員 確かに荒れているところもあります。

2 番 荒れているところもある。荒れていないところもある。

3 番 現地で3名の方がかぼちゃの手入れをしていた。奥さん1人とその息子さんとお父さんかな。

推進委員 バイトていうかそれで。応援ですよ。

2 番 シルバーですかね。

3 番 息子さんやろあれは。

推進委員 農大に研修に行った時にそこで知り合って、どこかなあっちの方でミカン農家なんですよ。女の方とその息子さん。ミカンの仕事がない時、こっちに応援。ミカンちぎりは●●さんが応援に行ったりとか。

3 番 お父さんだろうと思った。

推進委員 近所の人です多分。親父さんは入院されています。

1 番 地目で田とありますけれども、これはほとんど田を作れる状況じゃないんじゃないかな。ハウスの跡でしょう。だけん地目的には田ぼってん畑地になっとるんじゃないかな。田は植えられん。

推進委員 前はハウスがたってトマトがあったぼってん、倒してしまっって今畑になっとる。

1 番 だけん田は作られんでしょ。地目が田になっとるけど。

3 番 一部ハウスがたっていてその中に有機農業とかいって草もとらんでこういうやり方があるのかなとって色々話されたけど。

1 番 実質これはもう畑と見ていいんでしょ。

11 番 土地を相手から購入してその土地をまた相手に貸したら経営規模拡大になるかならんかも審議して欲しいですね。所有権は●●さんに移転するんでしょ。それを貸してあるけんですよ。それは経営規模拡大になるとですか。

2 番 貸しなはる予定ですか。

11 番 貸しなはるでしょう実際。作りきらんけん。

6 番 有機農法と言っておじさんがこらしたけど、あそこの畑は前から借りとらすとでしよ。

4 番 そうみたいです。

6 番 ●●さんから改めて借らしたらいかんけんが、今までその有機農法で畑は荒れとるですよ。中ではスイカとか色々作ってあったけん。

その辺はどうですか。今中村さんが言っていた経営規模拡大なんとかの。

- 11 番 ●●さんのは●●さんの土地だけんね。
- 6 番 今度はなるわけでしょう。そこは前から借りとなはるけん現状のままでよかという
ことで●●さんは貸しとなはるですよ。そこは確認はしとらんですけれども、
この前来られてた人の話を聞けばずっと作っとられるかんじで。
- 11 番 今まで通りだけんです。ぼってんそれ以上に田畑が多くなるけんです。
- 6 番 南三箇の田ん中は何枚かは綺麗にうってあったしね。
- 11 番 それはもう小作人がちゃんと決まっているので。だって対価の方の金額を見られま
したか。
- 会 長 基本的には耕作放棄地、遊休農地を出さない。そういうのがあったらそれらをする
人の法人なり認定農業者に斡旋するのが我々の役目でありますので、そういう意味で
は●●さんが基本的にされるということになっていきますので。形としてはですね。だ
からそれをどうされるのかは中々突っ込んで分かんずね。
- 11 番 他の地区に迷惑がかからんようにしてもらえれば全然。
- 会 長 そこは我々が農業委員さん等が目を光らせていただいて、おかしい場合はこちらに
言っただいて、こっちからおかしいんじゃないですかというようなことを言えば。
- 11 番 現状は自分の土地自体を把握しきれんような状態ですけんね。だから私この前言っ
たんですよ。自分の土地もちゃんとしきらんで、なんでこぎゃんまで増やすとやて。■
■■から色々委託されているけん、しょんなかたいて。自分もいやいやしとらすとは
思うたい。
- 会 長 親父さんがしとった関係で。
- 4 番 後は管理ですたいな。
- 会 長 それは今言ったように耕作放棄地はなるべく出したらいかんけん。それは毅然と見
て、そこから先のことは我々が監視しながら管理をせんと仕方ないかなと思ひますけん
ね。
- 3 番 かぼちゃを植えて所は綺麗に管理して植えてあつから、きれいだなと思つてみよつ
たんです。
- 6 番 あそこは元々自分の所じゃなかですか。
- 11 番 ■■■のじゃなか。
- 推進委員 ■■■のもありますね。
- 3 番 全部が全部自分のじゃないものもあるわけね。
- 1 番 譲受人が50ということで譲渡人の第1受け手として認めてやってもいいんじゃない
かな。それが甲佐の人が管理するのであれば、またその人と農業委員でどぎゃんか監
視して綺麗に分けられるならです。
- 会 長 今境委員から中々良い発言だったと私は思ひます。年齢はまだ若いですから。●●

さんはですね。だからこれからの活動というか、あれはあると思いますので、まとめていきたいと思いますがよろしいですかね。

3 番 井芹さんはどう思う、地元で。
推進委員 あれだったら●●くんやって、●●くんがでんのがあれば、今実際私、■■■■の
を作っているんですよ。もしできんとなったらやっぱり応援はして、自分のところ
の地域はですね。

会 長 やっぱり耕作放棄地は出ないようにせんと。
色々意見が出ましたけどまとめていきます。色々発言があったところですが、歳も
若いし、周りの人も協力しながらですね。そういう意見もありますので本件に許可す
る賛成する方は挙手願います。

(挙手の確認)

賛成多数と認めます。番号5番については、原案どおり許可することに決定いたし
ます。

それでは、続きまして、議案第10号、農地法第5条許可申請書審議についてを議題と
します。

事務局長から説明をお願いします。

事務局長 それでは、8ページをお願いいたします。

議案第10号、農地法第5条許可申請書審議について。

農地法第5条第1項の規定に基づき、別紙のとおり許可申請がありましたので、意
見の決定を求めるものでございます。

令和6年6月6日提出、甲佐町農業委員会会長名です。以上です。

会 長 ありがとうございます。

それでは、9ページをお願いします。

議案第10号、農地法第5条許可申請書審議調書の番号1番についてを審議したいと
思います。

それでは、13番委員の緒方委員から説明をお願いします。

13 番 13番委員の緒方です。

それでは、番号1番について説明いたします。

(申請人の状況・譲受人の状況・申請土地の状況・転用目的・契約の種類・転用理由を
読み上げ)

以上です。

会 長 続きまして、事務局から申請土地の位置の説明をお願いします。

事務局 それでは、御説明申し上げます。地図につきましては、お手元の資料の10ページに添
付しておりますけど、前のスクリーンのほうで御説明申し上げたいと思います。赤

く示した所が今回の申請地、下の方に右から左に竜野川、国道443号線がこのように通っておりまして、左の方甲佐大橋がここに位置しております。町民センターがここにございまして町民センターより北東へ約285メートルのところ今回の申請地がございまして。場所については以上でございます。

会 長 続きまして、転用申請に係る可否の判定について、13番委員の緒方委員から説明をお願いします。

13 番 13番委員の緒方です。それでは、説明します。今回の申請は、譲受人が譲渡人から農地を有償で譲り受け、「個人住宅」を建設するために転用申請をするものです。

転用申請に係る可否の判断として、申請された内容を農地法に照らし、問題ないかどうか 説明します。

それでは、お手元のラミネートの資料の転用申請に係る可否の判断を御覧ください。

①については、今回の申請地は農振農用地ではありません。農地の状況としては、集落に隣接しており公共投資の対象とはなっていませんが、広がり10ha以上あるため、第一種農地に該当します。

②については、第一種農地の転用は原則許可できませんが、第一種農地の例外規定である「集落接続」に該当するため、例外的に転用は可能だと思います。

③については、「資金計画書」、「事前審査終了書」も添付されているため、事業の実現性については問題ありません。

④については、「周囲にコンクリートブロックを設置し、土砂の流出に留意する」とされているため、周囲の営農に支障を及ぼす恐れは無いと思われます。

⑤については、問題ないと思われます。

⑥については、今回の申請は仮設工作物ではないので該当しません。

以上、説明を終わります。

会 長 現地調査を行っております。4番委員の松本委員から説明をお願いします。

4 番 4番委員の松本です。

先月の5月29日に 職務代理者の清住委員、五嶋委員、事務局で現地調査を行いました。

申請地は、大字早川字上小塚にある農地2筆で、第一種農地に該当しますが、例外規定の「集落接続」に該当するため、転用は可能だと思います。

会 長 ただいま4番委員の松本委員から現地調査の報告。また、13番委員の緒方委員から、転用申請に係る可否の判断である、「農地法第4条第6項第1号のロ」に該当するものの、例外規定に該当するため「転用は可能と判断する」との説明がありました。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。 境委員どうぞ。

1 番 見た感じ周りは住宅地のような感じなんですけれども、この中に溜池とありますよね。これはまだ使われているんですか。

会 長 事務局、分かりますか。

事務局 溜池につきましては、今溜池側からとっております。上の方に道が通っております、こちら溜池の堤体、兼用道路です。町道です。その先に大きい溜池がありまして現在も利用されています。

会 長 よろしいですね。そのほかにご意見ないでしょうか。

ほかにはないようでございます。それでは採決を行います。許可することに賛成の方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

全員、賛成と認めます。それでは、番号1番につきましては、当農業委員会としましては、「許可相当」の意見を付けて県のほうへ送付をしております。

会 長 それでは議案第11号、「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律（令和4年法律第56号）附則第5条第1項の規定による決定について」を議題といたします。

事務局長から説明をお願いします。

事務局長 それでは、11ページをお願いいたします。議案第11号、農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律附則第5条第1項の規定による決定について。別紙のとおり諮問がありましたので、意見の決定を求めるものでございます。

令和6年6月6日提出、甲佐町農業委員会会長名です。

12ページをお願いいたします。

甲農第358号、令和6年5月27日提出、甲佐町農業委員会会長、岡本篤幸様、甲佐町長、甲斐高士。農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律附則第5条第1項の規定による決定について（諮問）。

農業経営基盤強化促進法第3条に基づく農用地利用集積計画について農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律附則第5条第1項及び甲佐町農業経営基盤強化促進事業実施方針により、農用地利用集積計画を定めたいので、同法附則第5条第1項の規定により諮問します。

次の13ページをお願いいたします。農用地利用集積計画総括表、令和6年度第3回です。まずは、農用地利用集積計画の総括表で説明いたします。

賃借権の再設定について、3年の田が4筆の3,647㎡、6年の田が3筆の1,877㎡、10年の田が5筆の6,415㎡となります。

賃借権の新規について、6年の田が4筆の7,915㎡、10年の田が7筆の6,333㎡、10年の畑が1筆の380㎡となります。

使用貸借権の再設定について、今回はございません。

使用貸借権の新規について、10年の畑が1筆の890㎡となります。

このため、今回の利用権設定の合計は、田が23筆の26,187㎡、畑が2筆の1,270㎡となります。

その他、所有権移転についてはございません。

委員の皆様には審議していただきますのは、新規の案件となります。詳細は、事務局から説明いたします。以上です。

会 長 それでは、14ページをお願いします。

議案第11号、農業経営基盤強化促進法の規程による農地利用集積計画について審議します。

番号1番・番号2番は相手方が同一で、契約の種類も同一なので、一緒に審議したいと思います。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。お手元の資料16ページが申請番号1番東寒野にある申請地で、17ページが芝原第一にあります申請番号2番の4筆となります。地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。申請土地は赤色の部分です。

こちらに日和瀬橋、こちらに特別養護老人ホーム桜の丘がございまして、申請番号1番の申請地はこちらの桜の丘から東へ約800メートルのところに2筆隣接してございます。続きまして、申請番号2番の申請地の説明をいたします。こちらに県道嘉島甲佐線が走っておりまして、こちらにネッツトヨタさん、木村のあられさんがございます。今回、申請番号2番の申請土地はこちら木村のあられさんから北へ約90メートルの県道沿いに3筆、そこから北へ約260メートルのところに1筆、このように点在しております。

次に、相手方の状況について説明いたします。番号1番・2番の相手方は、認定農業者で、主に加工用米の作付けをされています。今回の申請地にも加工用米の作付けを計画されており、集積後は効率よく利用できると思われま。

会 長 ただいま、事務局から説明がありました。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。

河嶋委員どうぞ。

12 番 この方は他の地区での耕作面積はありますか。

会 長 事務局分かりますか。

事務局 相手方は甲佐町以外ということですよ。甲佐町以外での耕作面積がおありかど

うかは申し訳ございません。詳細を確認してはいないんですが、現時点で▲▲さんが持っていらっしゃる耕作面積は6万3,296平米です。町外があるかどうかについては申し訳ございません。詳細は。

会 長 河嶋委員よろしいですか。今の答弁。

12 番 もう少しだけ。だれんが何人で今なさつとるかなと思ってですね。他の所に面積があれば結構な人間がいるけんですね。

会 長 他にはちょっと分かりません。

5 番 よろしいですか。

会 長 伊豆野委員。

5 番 ここ確か寒野の土地なんですけれども、以前ここ確か議案にあがらなかったですかね。花木を作るかなんかの話になっていた気がする。

事務局 事務局から説明をいたします。実は今年の3月の定例会の案件にあがっておりまして、その時の所有者が今回の申請人の●●さんの甥っ子さんが所有者でした。他県にいらっしゃって農地の管理ができないということで、このままだったら荒れてしまうということで一旦、●●さんの方が所有権移転をされて受けられたんですけれども、今回▲▲さんが加工用米をどうしても増産したいということで、農地がここがいいということだったので申請にあがっております。

会 長 伊豆野委員よろしいでしょうか。

何か御意見ございませんか。

他にはないようでございます。採決を行います。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手の確認)

全員賛成と認めます。番号1番・2番については、原案のとおり承認をいたします。

続きまして、番号3番・番号4番は相手方が同一ですが、契約の種類が異なりますので、今回はそれぞれで審議したいと思います。それでは、番号3番について審議したいと思います。

事務局から説明をお願いします。

事務局 説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。

18ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。番号3番の申請土地はこちら赤色の部分でございます。こちらに甲佐神社がございまして甲佐神社、町営上揚団地がございまして。今回の3番の申請地は団地から北へ約160メートルのところ、1筆でございます。こちらは申請番号4番の申請地になりますので後ほど

説明いたします。

次に、相手方の状況について説明いたします。番号3番の相手方は、認定新規就農者で、今回の申請地には多肉植物の作付を計画されており、集積後は効率よく利用できると思われます。以上です。

会 長 　　ただいま、事務局から説明があったところです。

　　これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。

　　境委員どうぞ。

1 番 　　こんな珍しい新しい作物を作られる方が新規就農ということで、できれば農業委員会でも応援というか、広報とかなんかでしっかり応援してやった方がいいと思います。

会 長 　　境委員から今質問がありました。他になにかありますか。珍しいものですよ、多肉植物って。長野委員。

2 番 　　申請人の人なんか親戚とかあるんですか。こんな遠くまで来てされるなんて。

事務局 　　申請人と相手方はおじいちゃんとお孫さんの関係でいらっしゃいます。●●さんがおじいちゃん。相手方がお孫さんです。申請人の方のご自宅がこちらの申請土地のこの辺りにご自宅がありまして、相手方であるお孫さんのお母さんのご実家になられます。ゆくゆくは甲佐町に移住して来られるご予定ではあるということです。以上です。

会 長 　　長野委員、よろしいですかね。

2 番 　　いいです。

会 長 　　そのほかに何かないでしょうか。

　　ほかにはないようでございます。それでは番号3番について原案のとおり決定することに賛成の方は挙手を願います。

（挙手の確認）

　　全員賛成と認めます。番号3番については、原案のとおり承認をいたします。

　　続きまして、番号4番について審議したいと思います。

　　それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 　　はい、説明します。

（申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ）

　　続きまして、申請地の位置の説明をいたします。18ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。

　　今回の申請地は甲佐神社から北東へ約150メートルのところに1筆ございます。先程の申請番号3番の場所から目と鼻の先なんですけど10メートルほど離れたところに1筆ございます。

　　次に、相手方の状況について説明いたします。番号4番の相手方は、認定新規就農者で、今回の申請地には多肉植物の作付を計画されており、集積後は効率よく利用できる

ると思われます。以上です。

会 長 　　ただいま、事務局から説明があったところです。

これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。伊豆野委員どうぞ。

5 番 　　多肉植物ということでお米作っておられないのに、対価が米というのはどういう経緯だったか。

会 長 　　事務局お願いします。

事務局 　　事務局から説明いたします。ここの農地は元々おじいさん●●さんが借りていらっしやった農地として、おじいさんはご高齢で84歳ではあるんですが、農業をまだされていてそこのおじいさまと一緒にお米も相手方が手伝っていらしゃるので、そこで出たお米で対価ということで借りています。元々おじいさまが借りていらっしやった契約内容をそのまま引き継がれた形になっております。

会 長 　　伊豆野委員よろしいですか。

5 番 　　はい。

12 番 　　もう一ついいですか。

会 長 　　河嶋委員どうぞ。

12 番 　　譲受人は他に仕事かなんか持ってらっしゃるんですか。

事務局 　　ほぼ毎日、週7のうち週5くらいは甲佐町にいらっしやって他の仕事はされていらっしやいません。

会 長 　　河嶋委員よろしいですか。

12 番 　　はい。

会 長 　　ほかに何かございませんか。

ほかにはないようでございます。それでは、採決をします。原案のとおり決定することに賛成の方は挙手願います。

(挙手の確認)

全員賛成と認めます。番号4番については、原案のとおり承認をいたします。

続きまして、番号5番について審議したいと思います。それでは事務局から説明をお願いします。

事務局 　　はい、説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。19ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。申請土地は赤色の部分です。こちらに日和瀬橋、こちらに特別養護老人ホーム桜の丘がございまして、今回の申請地は桜の丘さんから東へ約680メートルのところ、隣接しております。

次に、相手方の状況について説明いたします。

番号5番の相手方は、人農地プランで位置づけられた地域の担い手で、主に米の作付けをされています。今回の申請地にも米の作付けを計画されており、集積後は効率よく利用できると思われます。以上です。

会長 ただいま、事務局から説明があったところです。これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。境委員どうぞ。

1番 譲渡人の方と事務局長とはどういった関係がございますか。

事務局長 親子です。

1番 あった場合、おられてもいいんですか。

事務局長 私は議決権がないので。

1番 議決権がないから居ってもいいんですね。分かりました。

会長 そのほかに何かございませんか。

12番 畦倒ししてあるんですか。

事務局長 してあったと思います。

会長 そのほかに何かございませんか。

他にはないようでございます。それでは、原案どおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手の確認)

全員賛成と認めます。番号5番については、原案のとおり承認をいたします。

続きまして、P15ページをお願いします。

番号6番・番号7番は相手方が同一で、契約の種類も同一なので、一緒に審議したいと思います。

この案件は、熊本県農業公社を通しての貸借です。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 説明します。

(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)

続きまして、申請地の位置の説明をいたします。20ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。申請地は赤色の部分です。こちらに龍野小学校、こちらにふれあい広場がございます。まず申請番号6番の申請地はこちらふれあい広場から北東へ約380メートルのところに1筆ございます。またそこから東へ約500メートル竜野川沿いに1筆ございます。

次に、相手方の状況について説明いたします。

番号6番・番号7番の相手方は、認定新規就農者で、主に米・野菜の作付けをされています。今回の申請地には米の作付けを計画されており、集積後は効率よく利用できると思われます。説明は以上です。

- 会 長 ただいま、事務局から説明がありました。
これより質疑に入ります。発言のある方は挙手を願います。
何かご意見ございませんか。
質問等ないようでございます。それでは原案のとおり決定することに賛成の方は挙手をお願いします。
- (挙手の確認)
- 全員賛成と認めます。番号6番・7番については、原案のとおり承認をいたします。
- 会 長 続きまして、番号8番について審議したいと思います。この案件は、熊本県農業公社を通しての貸借です。
それでは、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 説明します。
(申請人の状況・相手方の状況・申請土地の状況・移動の理由・契約の種類を読み上げ)
続きまして、申請地の位置の説明をいたします。21ページに地図を添付しておりますが、前のスクリーンで説明いたします。申請地は赤色の部分です。こちらに甲佐小学校がございまして、こちらが葬祭場の碧水苑でございます。今回の申請地は碧水苑の向かいの民家の裏手に1筆ございます。
次に、相手方の状況について説明いたします。番号8番の相手方は、認定新規就農者で、主に米・野菜の作付けをされています。今回の申請地には米の作付けを計画されており、集積後は効率よく利用できると思われれます。以上です。
- 会 長 ただいま、事務局から説明がありました。
これより質疑に入ります。発言のある方は挙手願います。
何かございませんか。質問もないようでございます。それでは採決を行います。原案どおり決定することに賛成の方は挙手を願います。
(挙手の確認)
全員賛成と認めます。番号8番については、原案のとおり承認をいたします。
本日予定しておりました議題は全て終了いたしましたので、事務局のほうにバトンタッチいたします。よろしく願いいたします。
- 事務局長 それでは、長時間にわたりお疲れさまでした。これをもちまして、第3回定例農業委員会総会を閉会いたします。お世話になりました。

本議事録が真正であることを署名する。

署名委員 議 長

1 番

2 番